



# 若き心

## 集まるどころ 2月 (NO13)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校校長 山口 茂

令和4年2月1日

まだまだ寒い日が続いていますが、渡り廊下から見える梅の木には真っ赤な花が咲き始めています。一歩ずつ春が近づいてきていることが感じられます。

茅ヶ崎市では新型コロナウイルスの感染の拡大が収まりきらず、生徒や保護者の皆様には、大変ご心配をおかけしております。学校としては、マスク着用の指導や昼食時の黙食の指導、手洗いや消毒の徹底など感染対策をこれまでと同じように行ってまいります。ご家庭でも、感染対策をしっかり行っていただくことや、発熱や咳、のどの痛みなどの症状がある場合は、登校を見合わせていただき医療機関にご相談をお願いいたします。

### 書初め展

新しい年のスタートに合わせて、各学年、書初めを行っています。1年生は「不言実行」2年生は「新たな目標」3年生は「無限の可能性」です。現在、2年生の書初めが廊下に貼り出されています。先日、2年生の授業を見学させていただきながら各クラスの書初めを見せていただきました。皆さんの書いた“書”には、皆さんの“人柄”が反映されるのだそうです。丁寧な書、勢いのある書、いろいろな特徴がありますが、どれもみな、心を込めて書かれていました。鶴が台中学校の生徒は、どんなことにも全力投球です。そんな、皆さんの書初めを見て、大変うれしく思いました。



### 入学試験が始まりました

私立高校の推薦入試が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染症の対策のためWebや郵送での合格発表が多いようです。合格証を手にした生徒が笑顔で「合格しました」と報告に来てくれました。「合格おめでとう。3年間頑張っただけ」というお祝いの言葉と合わせて、1つお願いをしました。「皆さんは第一希望の学校に合格できホッとしていると思いますが、皆さんの仲間の多くは、これから受験本番を迎えます。だから、友達に気を遣ってあげましょう」と。

高校入試は、一人ひとりの戦いなものかもしれませんが、しかし、せっかく同じ学校で3年間頑張ってきたのだから、鶴が台中学校として、チームで高校入試と戦ってもらいたいと思っています。一人ではくじけてしまうかもしれませんが、仲間と一緒に乗り越えられます。3年生144人、全員の進路が決まるまで、チーム台中で力を合わせていってもらいたいと思っています。

## 面接試験の練習の風景

すべての県立高校の入学試験に「面接試験」が取り入れられています。また、私立高校の多くの学校の入学試験にも面接試験があります。初対面の高校の先生との面接ですので、とても緊張すると思います。そのような中、志望動機や将来の夢など、自分のことをアピールしなくてはならないので大変です。

3年生の先生方から頼まれて、今年の12月から、3年生の皆さんと面接試験の練習を行っています。

練習に来る生徒は、緊張した面持ちで校長室に入ってきます。私は「本校を志望した理由を教えてください」「得意な科目は何ですか」「中学校時代、何か部活動をやっていましたか」など、本番でよく聞かれるような質問をしています。

よくある質問の1つに「将来の夢を聞かせてください」というものがあります。面接練習に来た3年生にこの質問もよくします。すると「薬剤師になりたい」「人と関わるような仕事につきたい」「大工さんになりたい」「洋服のデザイナーになりたい」ほとんどの生徒が、将来の夢を持っていて、堂々と答えてくれました。

自分が中学3年生のころを思い出してみると、当時の私は「将来の夢」なんて全く考えていなかったと思います。鶴が台中の3年生は自分のことをしっかり見定め、自分の特性に合わせた“将来の夢”を思い描いています。本当に素晴らしいことだと思います。

1年生や2年生の皆さんもキャリア教育にきちんと取り組んで、3年生になったときには“将来の夢”を語れるようになるといいですね。面接試験の練習で皆さんの“夢”を聞かせてもらえることを楽しみにしています。

## ちょっといい話

先日、正門で朝の挨拶をしていた時、私立高校に入学願書を出しに行く生徒が4名、正門の前のバス停でバスを待っていました。茅ヶ崎駅行きのバスが到着し乗車しようとしたときに、その生徒たちが大きな声で「校長先生、行ってきます」と手をふってくれました。

こんな素晴らしい生徒は合格間違いなしです。さすが“挨拶を大切にしている”台中生。バスが動き出してから、しばらくバスに向かって手をふって送り出したことは言うまでもありません。

## お知らせ

新型コロナウイルスの関係で、学校で配付しているプリントなどがご家庭に届きにくい状況が続いております。学校といたしましては、大切な情報は、プリントを配付するだけでなく、緊急メールや学校のホームページを活用してご家庭に情報をお届けできるようにしております。

例年になく、緊急メールを送信させていただいておりますのは、このような理由からです。毎日のように緊急メールを送信させていただいております。ご迷惑に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ご理解いただきご協力ください。